

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 アールビバン株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室マネージャー

(氏名) 中島 章裕

TEL 03-5159-7177

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年12月19日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	3,739	—	389	—	454	—	228	—
20年3月期第2四半期	4,507	△12.0	508	20.2	558	16.3	192	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	16.62	—
20年3月期第2四半期	13.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	18,788	14,822	78.9	1,077.30
20年3月期	19,370	14,860	76.7	1,079.91

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 14,822百万円 20年3月期 14,860百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	△16.6	420	△3.9	500	15.7	200	—	14.54

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 15,463,816株 20年3月期 15,463,816株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,704,940株 20年3月期 1,702,940株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 13,760,816株 20年3月期第2四半期 13,851,976株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の業績予想につきましては、平成20年5月21日に公表しました内容から変更しております。詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報」及び本日別途開示する「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2.本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6か月）におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する金融危機の拡大や、世界同時株安、原油価格の高騰によるガソリン・食品その他の相次ぐ値上げにより個人消費は伸び悩み、景気の後退懸念は否めない状況で推移いたしました。当社グループを取り巻く事業環境も依然厳しい状況が続いていくものと思われま。このような状況のもと、当社グループは、新規顧客重視の営業政策とさらなる経費の削減を目指して活動してまいりました。

この結果、当第2四半期（6か月）の連結業績は、売上高3,739百万円（前年同期比17.0%減）、営業利益389百万円（同23.4%減）、経常利益454百万円（同18.6%減）、四半期純利益228百万円（同18.8%増）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。ただし、第1四半期から事業の種類別セグメントを変更したため（詳細は、8ページ「5. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報」をご覧ください）、前年同四半期分を変更後の区分に組み替えて行なっております。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、新規顧客の獲得により一層注力し、催事販売における会場費等の経費削減・効率化に引き続き取り組んでまいりました結果、売上高は2,348百万円（同19.1%減）、営業利益263百万円（同23.4%増）となりました。

◆金融サービス事業

当社グループ顧客に対する割賦販売斡旋業務を引き続き行なってまいりましたが、新規契約件数・金額の減少により、売上高494百万円（同20.1%減）、営業利益310百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

◆リゾート事業

当社の株主優待制度条件変更により利用客数が減少し、それに伴い料飲部門・タラソテラピー部門の利用率も伸び悩んだ等の結果、売上高611百万円（同21.6%減）、営業損失96百万円（前年同期は48百万円の営業利益）となりました。

◆健康産業事業

フィットネスクラブ等における会員獲得数は堅調に推移しましたが、固定費を回収するには至らず、売上高280百万円（同44.0%増）、営業損失94百万円（前年同期は139百万円の営業損失）となりました。

◆その他の事業

家具販売事業の売上高は15百万円、営業損失15百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、金融サービス事業における割賦債権の減少等により受取手形及び売掛金が925百万円減少し、前連結会計年度末に比べ581百万円減少した結果、18,788百万円となりました。

また、負債につきましては、割賦利益繰延や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ543百万円減少し、3,966百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、14,822百万円となりました。

② キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、割賦利益繰延の減少、法人税等の支払や配当金の支払等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益や売上債権の減少等の増加要因により、前連結会計年度末に比べ857百万円増加し、4,958百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,057百万円となりました。

これは主に割賦利益繰延の減少額264百万円、法人税等の支払額210百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益435百万円、売上債権の減少額925百万円、仕入債務の増加151百万円等の増加要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は44百万円となりました。

これは主に敷金及び保証金の回収による収入111百万円等の増加要因があったもの、有形固定資産の取得による支出25百万円、投資有価証券の取得75百万円、敷金及び保証金の差入による支出53百万円等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は206百万円となりました。

これは主に配当金の支払206百万円等によります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

下期におけるわが国経済は、企業収益や個人消費についても依然として厳しい状況が続くことが想定されます。当社グループにおいては、当第2四半期（6か月）において利益面での改善は見られたものの、引き続き厳しい事業環境が予想されることから、平成20年5月21日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途開示する「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,958,713	4,100,738
受取手形及び売掛金	8,184,623	9,110,343
商品	465,128	432,852
製品	8,014	11,781
原材料	12,270	12,334
仕掛品	1,517	1,222
貯蔵品	58,711	61,480
前払費用	387,019	484,685
繰延税金資産	506,517	506,603
その他	136,757	372,045
貸倒引当金	△82,556	△67,958
流動資産合計	14,636,715	15,026,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,599,793	2,633,679
減価償却累計額	△826,304	△829,259
建物及び構築物(純額)	1,773,488	1,804,419
土地	324,468	331,768
建設仮勘定		31,566
その他	545,042	548,578
減価償却累計額	△276,402	△279,299
その他(純額)	268,639	269,279
有形固定資産合計	2,366,596	2,437,033
無形固定資産		
のれん	35,670	44,574
その他	47,244	35,776
無形固定資産合計	82,914	80,351
投資その他の資産		
投資有価証券	908,219	977,918
敷金及び保証金	381,302	439,041
繰延税金資産	130,718	132,327
その他	350,617	341,770
貸倒引当金	△68,362	△64,534
投資その他の資産合計	1,702,495	1,826,523
固定資産合計	4,152,006	4,343,908
資産合計	18,788,722	19,370,039

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	342,747	190,978
未払法人税等	224,455	245,076
賞与引当金	87,714	88,516
返品調整引当金	17,308	42,181
割賦利益繰延	1,920,078	2,184,440
その他	1,031,316	1,393,207
流動負債合計	3,623,621	4,144,400
固定負債		
退職給付引当金	12,335	9,914
役員退職慰労引当金	304,219	329,373
その他	26,071	25,807
固定負債合計	342,626	365,095
負債合計	3,966,247	4,509,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	7,690,067	7,667,730
自己株式	△1,139,159	△1,138,565
株主資本合計	14,913,210	14,891,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△90,735	△30,923
評価・換算差額等合計	△90,735	△30,923
純資産合計	14,822,474	14,860,543
負債純資産合計	18,788,722	19,370,039

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	3,739,719
売上原価	1,696,905
売上総利益	2,042,814
販売費及び一般管理費	1,653,405
営業利益	389,408
営業外収益	
受取利息	5,142
受取配当金	5,708
為替差益	33,563
投資事業組合運用益	1,029
その他	21,244
営業外収益合計	66,688
営業外費用	
不動産賃貸費用	1,774
その他	290
営業外費用合計	2,064
経常利益	454,032
特別利益	
前期損益修正益	692
特別利益合計	692
特別損失	
固定資産除却損	1,546
投資有価証券評価損	3,503
貸倒引当金繰入額	3,275
店舗閉鎖損失	9,433
その他	1,017
特別損失合計	18,777
税金等調整前四半期純利益	435,947
法人税、住民税及び事業税	191,624
法人税等調整額	15,573
法人税等合計	207,197
四半期純利益	228,749

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	435,947
減価償却費	93,120
のれん償却額	8,904
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18,425
受取利息及び受取配当金	△10,851
為替差損益 (△は益)	△20,122
売上債権の増減額 (△は増加)	925,720
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,969
仕入債務の増減額 (△は減少)	151,768
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△802
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,421
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△25,154
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△24,872
固定資産除却損	1,546
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1,029
前払費用の増減額 (△は増加)	97,666
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△264,362
その他	△105,259
小計	1,257,097
利息及び配当金の受取額	10,851
法人税等の支払額	△210,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,057,731
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△25,983
無形固定資産の取得による支出	△20,631
投資有価証券の取得による支出	△75,000
敷金及び保証金の差入による支出	△53,593
敷金及び保証金の回収による収入	111,332
その他	19,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△206,413
その他	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	806,849
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	51,125
現金及び現金同等物の期首残高	4,100,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,958,713

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	2,348,269	494,369	611,489	280,933	15,388	3,750,449	(10,730)	3,739,719
営業費用	2,085,101	183,647	707,979	375,231	30,430	3,382,390	(32,079)	3,350,310
営業利益 (又は△損失)	263,168	310,721	△96,489	△94,298	△15,042	368,059	21,349	389,408

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業	版画等絵画の販売及びこれに付随する事業
金融サービス事業	割賦販売斡旋事業
リゾート事業	リゾートホテルの運営
健康産業事業	ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業
その他の事業	家具販売事業

3. 事業区分の方法の変更

従来、イラスト系雑誌の出版は出版事業として「その他の事業」の区分に属しておりましたが、内部管理上、事業としての独自性が低下し、「アート関連事業」のイラスト系作家開発に付随して行われることが多くなってきたことから、事業の実態を反映したより適正なセグメントで表示するため、第1四半期連結累計期間より、所属する区分を「アート関連事業」に変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間における「アート関連事業」の売上高が19,312千円増加し、「その他の事業」の売上高が同額減少しております。また、当第2四半期連結累計期間における「アート関連事業」の営業利益が82,461千円減少し、「その他の事業」の営業損失が同額減少しております。

4. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		4,507,330 100.0
II 売上原価		1,842,173 40.9
売上総利益		2,665,157 59.1
III 販売費及び一般管理費		2,157,074 47.9
営業利益		508,082 11.2
IV 営業外収益		
1. 受取配当金	6,850	
2. 投資事業組合運用益	10,181	
3. 為替差益	4,639	
4. その他	31,864	53,535 1.2
V 営業外費用		3,588 0.0
経常利益		558,029 12.4
VI 特別利益		8,437 0.2
VII 特別損失		
1. 投資有価証券評価損	64,000	
2. 事業所閉鎖損	24,727	
3. 固定資産除却損	10,721	
4. 減損損失	7,650	
5. その他	26,181	133,279 3.0
税金等調整前中間純利益		433,187 9.6
法人税、住民税及び事業税	267,062	
法人税等調整額	△26,467	240,594 5.3
中間純利益		192,592 4.3

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	433,187
減価償却費	98,536
投資有価証券評価損	64,000
売上債権の減少額	1,258,695
たな卸資産の減少額	87,657
前払費用の減少額	114,091
仕入債務の増加額	38,504
割賦繰延利益の減少額	△442,986
その他	91,872
小計	1,743,558
利息及び配当金の受取額	9,671
法人税等の支払額	△37,262
その他	△5,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,710,567
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△43,562
敷金及び保証金の差入による支出	△46,569
敷金及び保証金の回収による収入	34,153
その他	△3,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,416
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△300,000
配当金の支払額	△207,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,779
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4,638
V 現金及び現金同等物の増加額	1,148,009
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,463,467
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	3,611,477

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	2,791,860	618,584	770,183	195,052	147,077	4,522,759	(15,428)	4,507,330
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9,581	—	—	9,581	(9,581)	—
計	2,791,860	618,584	779,765	195,052	147,077	4,532,341	(25,010)	4,507,330
営業費用	2,546,433	241,611	731,648	334,864	205,809	4,060,367	(61,119)	3,999,247
営業利益 (又は 営業損失△)	245,427	376,973	48,116	△139,812	△58,731	471,974	36,108	508,082

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業	版画等絵画の販売及びこれに付随する事業
金融サービス事業	割賦販売斡旋事業
リゾート事業	リゾートホテルの運営
健康産業事業	ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業
その他の事業	出版事業、家具販売事業、その他

3. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。